



稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより No.8
令和6年11月5日
文責 校長 遠藤 隆典

【学校の教育目標】
りこうで たっしやで
ほがらかな 稲穂の子

稲穂小 WEB



不審電話対応における見守り等の安全サポートに感謝致します！

校長 遠藤 隆典

10月21、23、29日に本校に児童の安全を脅かす旨の不審な電話がありました。児童全員の安全を守るため21日に全校児童を学校にて保護者に引き渡して下校させる「留め置き下校」の対応をとらせていただきました。初の対応ではありましたが、このよ



うな状況に備えて毎年留め置き訓練を行ってきたことが功を奏しました。

何よりも心強かったことは、急な連絡で対応を求めたにもかかわらず保護者の皆さまに落ち着いて対処していただいたことです。おかげで無事全



員を安全に引き渡し下校させることができました。その後2回の方面別下校の際にも、多くの保護者がお迎えや通学路での見守り協力をしてく

ださいました。そして、朝の登校時もお子さんを見守る多くの姿が見られます。保護者の見守り意識が学校の安全を高

め事故防止の抑止力になっていると感じています。

稲穂小CS(コミュニティスクール)の取組に、「稲穂小安全見守り隊 200Days」がありますが、その活動が力になっています。心より感謝申し上げます。今後も、子どもたちが安心して登下校できるようにご協力をお願い致します。



■この度の事案への対応を通して、全校で落ち着いて行動していく集団としての力や通学路の認識、警察や児童クラブとのスムーズな連携など改善ポイントも明らかになりました。経験に対応力向上につなげていきます。このような不審電話は、本当に迷惑で保護者・児童へ不安と混乱を与えた犯罪行為です。二度と起こらないことを願いつつ、教育委員会・警察と今後も連携しながら事故防止へ向け取り組んでいきます。

ポエムコンクールで6年生大澤さんが金賞を受賞！

小樽ポエムコンクールは、小樽市全小中学校の児童生徒が作品を提出して行われている今回10回目となる詩のコンクールです。高学年作品1167点から最高賞の金賞を6年生大澤徠人さんの作品「思春期」が受賞しました。素晴らしいです！詩の創作は、豊かな表現力につながります。これからも多くの児童が、詩や川柳・俳句の創作に進んでチャレンジして、さまざまな視点で表現豊かに表出していくことを期待しています。



タブレットを効果的に活用し、一人ひとりが主体的に学ぶ授業へ



今年度、本校の研究主題は「主体的に学び出す稲穂の子ども～伴走する教師の関わり方を工夫して～」です。日々、主体的に学ぶ授業づくりへ向け意見を出し合い、チャレンジ精神で取り組んでいます。

各学年の授業実践を通して、「主体的な学び」に取り組む過程にタブレットが効果的な学習道具として重要となっているのを感じます。1・2年生も抵抗なく活用していく姿が増えるなど授業が変わってきてい

ます。11月22日(金)には公開研究会を開催し、1年生での研究授業を公開していきます。

PTA ハロウィンパレード 多くの児童・保護者が商店街で楽しみました！



10月26日、都通り&サンモール商店街において PTA ハロウィン・イベントが行われ、児童約150名と多くの保護者の参加のもと、楽しい雰囲気の中、終えることができました。

このハロウィン・パレードは昨年度より PTA でスタートさせたイベントですが、伊藤会長そして事務局の皆さんの願いである、「子ども

たちが地域との関わりを深め、ふるさとへの想いを深める機会」の創出につながっていると感じています。今年も2つの商店街が全面的に連携・協力してくださり、各店舗から子どもたちにお菓子を渡していただきました。たくさんのお菓子に子どもたちは大喜びでした。

親子で仮装を楽しんでいる方もいて、かわった皆さんの表情がとても楽しそうでした。感謝を込めてそれぞれのアーケードで練習してきた「恋するフォーチュンクッキー」のダンスを踊りました。商店街の皆さんからも賑わいの創出への感謝の言葉をいただきました。パレードを見る市民や観光客にも笑顔があふれ、地域のよさを実感するイベントとなりました。

あらためて校区に商店街をもつ稲穂小は恵まれていると感じました。PTA 事務局、ご協力いただいた保護者の皆さま、都通り・サンモール商店街の皆さま、ありがとうございました。

1～4年生 人権教室を実施 ～ひとりで悩まない、必ず誰かに相談しよう！～

小樽市人権擁護委員による人権教室を、9・10月に1～4年生で実施しました。みんなで安全・安心に過ごすための友達とのかかわり方を、お話や対話を通して学びました。誰もが気持ちよく生活するには、いじめなど人を傷つける言動はしてはいけないことを考え深める事ができました。そして、日々の生活の中でお互いに思いやり、互いの気持ちを考えてどんな言葉をかけるかとい



いのかなどかわり方もみんなで考えました。また、お互いを大切に思い合うための大切なポイントとして、他の人に触れられたくないプライベートゾーンがあることも教えていただきました。学びが生かされ、学校中に思いやりの言動が増えていくことを期待しています。

最後には、つらい思いや悲しい思いをしたときには、一人で悩まずに誰かに必ず相談することが、解決の近道になることも教えてもらいました。

安心して小学校にきてください！～幼稚園・保育所・小学校の連携の取組～

今年も、近隣の幼稚園・保育所から新1年生となる子どもの稲穂小見学が始まりました。5つの幼稚園や保育所の見学が行われます。小学校への入学は子どもにとって不安が大きくなりがちです。学校がどんな様子なのかを実際に見て知ることや小学校の先生方やお兄さんお姉さんと声を交わすことは、入学後のスムーズな適応につながっていくと考えています。

「最後まで話を聞くこと」と「進んで挨拶をすること」を春までに身に付けてほしいと話しましたが、目を大きく開き真剣に話を聞いていました。授業参観では、タブレットを使う学習など幼稚園や保育所との違いを実感したことと思います。最後まで元気いっぱい、笑顔で帰っ



て行った姿が印象的でした。

今後も子どもたちが期待一杯に不安を減らして入学してこられるように、安心感につながる連携を深めていきたいと考えています。